



令和元年8月14日

各 位

会 社 名 株式会社ピーエイ
代 表 者 代表取締役社長 加藤 博敏
(コード番号 4766 東証第二部)
問合せ先 経営企画部長 阿部 良一
(TEL 03-5803-6318)

特別損失の計上及び業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成31年2月15日に公表いたしました令和元年12月期（平成31年1月1日～令和元年12月31日）の第2四半期（累計）期間の業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通り修正すると共に、特別損失を計上いたしましたのでお知らせ致します。

記

1. 特別損失の計上について

東急目黒線西小山駅前の商業施設建設に伴い、委託先に起因する建築基準法等に関する法令等違反が判明した事により、是正措置による工事費用として特別損失32百万円を計上致します。また、7月4日付けで委託先を刑事告訴し、損害賠償請求は検討中でございます。

なお、現時点での概算値であり、様々な不確定な要因を含んでおり金額が変動する可能性があります。

2. 令和元年12月期第2四半期（累計）連結業績予想値と実績との差異（平成31年1月1日～令和元年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,300	百万円 10	百万円 10	百万円 5	円 銭 0.46
実績値 (B)	1,205	△0	5	△36	△3.38
増減額 (B-A)	△95	△10	5	△41	
増減率 (%)	△7.3	—	△50.0	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成30年12月期第2四半期)	1,250	△21	23	0	0.06

3. 差異が生じた理由

売上高が業績予想値を下回ることとなりました要因は、無料求人情報誌「ジョブポスト」の広告掲載の受注減少やネット求人広告への広告料のシフトに伴い売上高が前期に比べ減少したことによるものであります。

営業利益及び経常利益が業績予想値を下回ることとなった主たる要因は、売上原価及び販売費及び一般管理費のコスト削減に努めたものの、売上高減少による粗利益減少の影響が大きく当該コスト削減をカバーできなかったことによるものであります。

親会社株主に帰属する四半期純利益が業績予想値を下回ることとなった主たる要因は、東急目黒線西小山駅前の商業施設建設に伴い、委託先に起因する建築基準法等に関する法令等違反が判明した事により、是正措置による工事費用として特別損失32百万を計上したことによるものであります。

なお、通期連結業績予想につきましては、今後の先行き不透明な事業環境を勘案し、現時点では前回発表の数値を据え置いております。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる場合がございます。

以 上